

# 令和7年度熊本赤十字病院 初期臨床研修プログラム



## 熊本赤十字病院

〒861-8520 熊本市東区長嶺南二丁目1番1号

TEL 096-384-2111

FAX 096-384-3939

<http://www.kumamoto-med.jrc.or.jp>

# 令和7年度熊本赤十字病院初期臨床研修プログラム

## 1. プログラムの名称と募集人員

- (1) 熊本赤十字病院〈ER重点〉初期臨床研修プログラム 13名
- (2) 熊本赤十字病院〈総合診療重点〉初期臨床研修プログラム 2名

## 2. 研修理念

〈基本理念〉目の前の患者から逃げない医師を育成する

Specialistである前にGeneralistであることが重要だと考え、将来進む診療科に限らず、総合的に患者を診る力を養います。

〈基本方針〉私たち育成するのは次のような医師です。

対応できる医師：救急医療と総合診療を中心に、当院独自の必須診療科をローテーションし、総合的に患者を診る力を養います。

信頼される医師：患者や家族の社会的背景に配慮し、寄り添うことのできる人格と、生涯を通じて自らを高める姿勢を養います。

協力できる医師：研修医を、病院全体、社会全体で育て、全ての人々と連携し、地域に貢献できる力を養います。

## 3. プログラムの目的と特徴

### (1) 目的

将来、プライマリ・ケアに対処し得る第一線の臨床医、または高度の専門医、救急専門医を目指すために必要な診療に関する基本的な知識、技能および態度の修得を目的とする。

この臨床研修プログラムは、厚生労働省が提示した、到達目標、研修理念に基づき、以下のとおり一般目標を定める。

- ①頻度の高い疾病や外傷の診断と治療ができる。
- ②救急の初期医療ができる。
- ③適切な時期、方法で他科や専門医に紹介できる。
- ④医療情報、診療内容を正しく記録する習慣を身につけ、正確に他に伝達できる。
- ⑤チーム医療を理解し、実践できる。
- ⑥患者、家族との信頼関係を確立できる。
- ⑦疾病の予防、健康管理、リハビリテーションについて理解し、基本的医療計画ができる。

### (2) 特徴

- ①当院は、平成8年からスーパーローテート方式の卒後研修を実践しており、科の垣根なく研修医を育てる風土がある。
- ②本院併設の救命救急センターにて、一次から三次まで多くの救急疾患の基本技術の修得を行う。

- ③自治医科大等の卒業生で将来離島へき地医療に従事する医師の2年間の初期研修を担当している。
- ④当院は、基幹型臨床研修病院であり、院内で標榜していない精神科及び地域医療については、協力型臨床研修病院、臨床研修協力施設で研修を行う。

#### 4. 研修責任者と参加施設の概要

##### (1) 研修管理責任者

副院長 奥本 克己 (基幹型 熊本赤十字病院)

##### (2) 研修プログラム責任者

<ER重点プログラム>

プログラム責任者：副院長 奥本 克己

副プログラム責任者：血液腫瘍内科部長 大戸 雅史

<総合診療重点プログラム>

プログラム責任者：総合内科部長 加島 雅之

副プログラム責任者：第一救急科部長 加藤 陽一

##### (3) 基幹型臨床研修病院の概要

- ◇名称 熊本赤十字病院
- ◇所在地 〒861-8520 熊本市東区長嶺南二丁目1番1号
- ◇電話、FAX 電話 096(384)2111 FAX 096(384)3939
- ◇開設年月日 昭和19年4月(現在地移転 昭和50年4月30日)
- ◇開設者 日本赤十字社
- ◇院長 平田 稔彦
- ◇許可病床数 一般病床 490床
- ◇診療科目 内科、腎臓内科、糖尿病内科、リウマチ科、血液・腫瘍内科、精神腫瘍科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、呼吸器外科、乳腺内分泌外科、整形外科、脳神経外科 心臓血管外科、小児外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科
- ◇認定 NPO法人 卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価認定(認定期間4年)  
病院機能評価 3rdG Ver. 2.0 (機能種別：一般病院2) および付加機能評価(救急医療機能 Ver. 2.0) 認定  
ISO15189 認定病院
- ◇特設 救命救急センター、重症外傷センター、脳卒中センター、脳血管内治療センター、心・大血管センター、小児救命救急センター、熱傷センター、こども医療センター、総合血管センター、画像診断治療センター、内視鏡センター、腎センター、外来化学療法センター、緩和ケアセンター、手術センター、総合鏡視下手術センター、地域周産期母子医療センター、へき地医療支援センター、患者サポートセンター、広報室、医療安全推進室、教育研修推進室、感染管理室、移植医療支援室、TQM推進室、経営戦略室

- ◇特 徴 昭和 19 年、日本赤十字社発祥の地である熊本に、日本赤十字社熊本県支部診療所として開設。赤十字精神に基づいた「人道・博愛・奉仕の実践」を基本理念とし、熊本県における急性期医療の中核病院として県内全域から患者を受け入れ、とりわけ救急医療や災害医療に取り組んできた。
- 赤十字の象徴ともいえる救援活動においては、日本赤十字社の「国際医療救援拠点病院」の一つとして、職種を問わず、多様な人材を育成することで、全国の赤十字のなかで最も多くの要員を海外へ派遣し、国内でも数々の被災地へ要員を派遣してきた。また、平成 20 年 2 月に「地域がん診療連携拠点病院」、平成 22 年 11 月には「地域医療支援病院」の承認を受け、県内の病院・診療所との緊密な連携を通じ、地域医療の拡充・発展に努めている。
- さらに、平成 23 年 1 月には、ドクターヘリの基地病院として、より迅速な初期救急診療体制の構築を図っている。
- また、平成 24 年 5 月には、県内初となる小児集中治療室を備えた「こども医療センター」「総合救命救急センター」を整備し、県の救急医療の拠点の一つとして 24 時間 365 日、あらゆる疾患の救急患者を受け入れている。
- ◇基本理念 人道・博愛・奉仕の実践  
私たちは、患者・地域・職員に寄り添い、安心と信頼の医療を届けます。
- ◇基本方針 救急医療  
救急医療を私たちの原点としてとらえ、全ての人に手を差し伸べます。
- 高度医療  
診療の専門性を高め、時代に即した安全で質の高い医療を提供します。
- 人材育成  
教育・研修を推進し、人間性豊かで将来を担う医療人を育成します。
- 地域連携  
地域全体で協力し、誰もが安心して暮らせる社会づくりに貢献します。
- 医療救援  
地球的視野で災禍を見つめ、積極的に医療救援活動に取り組みます。
- 魅力創出  
働きがいのある職場づくりを通して、ぬくもりのある病院を目指します。

#### (4) 参加施設の概要

プログラム参加病院、施設の概要は別紙のとおり

## 5. プログラムの管理運営体制

プログラムの管理・運営は、熊本赤十字病院群卒後臨床研修管理委員会(以下、委員会)が行う。委員会は、熊本赤十字病院の研修管理責任者、プログラム責任者、研修実施責任者及び協力型病院、研修協力施設の研修実施責任者によって構成される。

## 6. プログラムの概要

### (1) 基本方針

多くの救急患者を受け入れる救命救急センターを要する当院では、救急診療に重点をおいた研修プログラムとなっている。

1年目では、内科、外科、救急科、麻酔科、小児科、産婦人科を各8週ローテートし、全ての救急患者に初期対応できる研修を行う。

#### ①ER重点プログラム

2年目では、内科16週、救急科8週、地域医療4週、精神科4週、選択科20週をローテートし、地域医療と精神科研修は、院外の協力病院で研修を行う。

また、2年間を通じ、救命救急センターで準夜帯の外来患者に対応することで、多くの症例を経験できる。

#### ②総合診療重点プログラム

2年目では、内科16週、救急4週、地域医療12週、精神科4週、選択科16週をローテートし、地域医療と精神科研修は、院外の協力病院で研修を行う。

また、2年間を通じ、救命救急センターで準夜帯の外来患者に対応することで、多くの症例を経験できる。

#### 【経験すべき症候】

ショック、体重減少・るい瘦、発疹、黄疸、発熱、もの忘れ、頭痛、めまい、意識障害・失神、けいれん発作、視力障害、胸痛、心停止、呼吸困難、吐血・喀血、下血・血便、嘔気・嘔吐、腹痛、便通異常(下痢・便秘)、熱傷・外傷、腰・背部痛、関節痛、運動麻痺・筋力低下、排尿障害(尿失禁・排尿困難)、興奮・せん妄、抑うつ、成長・発達の障害、妊娠・出産、終末期の症候(29症候)

#### 【経験すべき疾病・病態】

脳血管障害、認知症、急性冠症候群、心不全、大動脈瘤、高血圧、肺癌、肺炎、急性上気道炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、急性胃腸炎、胃癌、消化性潰瘍、肝炎・肝硬変、胆石症、大腸癌、腎盂腎炎、尿路結石、腎不全、高エネルギー外傷・骨折、糖尿病、脂質異常症、うつ病、統合失調症、依存症

(2) 研修期間 104週

(うち2週はローテート時期によって、内科・救急科・小児科・産婦人科・麻酔科・外科に追加する)

①〈ER重点〉プログラム

◇必修科目	内科	24週
	救急部門	12週
	地域医療	4週
	小児科	8週
	産婦人科	8週
	外科	8週
	精神科	4週
◇選択必修科目	麻酔科	8週
(当院では必修科目とする)	I C U	4週

◇選択科目 24週 ※オリエンテーション2週含む

◇研修可能な診療科、部門(協力型病院、協力施設)

内 科 : 内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科

外 科 : 外科

救急部門 : 救急科、救命救急センター(集中治療病棟、救急病棟・外来)

麻 酔 科 : 麻酔科

小 児 科 : 小児科

産婦人科 : 産婦人科

地域医療 : (協力型臨床研修病院) 上天草市立上天草総合病院、小国公立病院  
国民健康保険和水町立病院、阿蘇医療センター  
: (臨床研修協力施設) 天草市立河浦病院  
山都町包括医療センターそよう病院

精 神 科 : (協力型臨床研修病院) 熊本県立こころの医療センター  
桜が丘病院、くまもと青明病院、弓削病院  
: (臨床研修協力施設) ニキハーティールホスピタル

選択科目 : 上記診療科に加えて

リウマチ・膠原病内科、腎臓内科、血液・腫瘍内科、感染症内科、乳腺  
内分泌外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、  
小児外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、  
放射線科、病理診断科、 地域保健(日本赤十字社熊本健康管理センター)

②〈総合診療重点〉プログラム

◇必修科目	内科	24週
	救急部門	12週
	地域医療	12週
	小児科	8週
	産婦人科	8週
	外科	8週
	精神科	4週
◇選択必修科目	麻酔科	8週

(当院では必修科目とする)

◇選択科目 20週 ※オリエンテーション2週含む

◇研修可能な診療科、部門(協力型病院、協力施設)

内科 : 内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科

外科 : 外科

救急部門 : 救急科、救命救急センター(集中治療病棟、救急病棟・外来)

麻酔科 : 麻酔科

小児科 : 小児科

産婦人科 : 産婦人科

地域医療 : (協力型臨床研修病院) 上天草市立上天草総合病院、小国公立病院  
国民健康保険和水町立病院、阿蘇医療センター  
: (臨床研修協力施設) 天草市立河浦病院

山都町包括医療センターそよう病院

精神科 : (協力型臨床研修病院) 熊本県立こころの医療センター

桜が丘病院、くまもと青明病院、弓削病院

: (臨床研修協力施設) ニキハーティールホスピタル

選択科目 : 上記診療科に加えて

リウマチ・膠原病内科、腎臓内科、血液・腫瘍内科、感染症内科、乳腺  
内分泌外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、  
小児外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、  
病理診断科、保健・医療行政(日本赤十字社熊本健康管理センター)

(3) ローテート基本パターン (例)

①熊本赤十字病院〈ER重点〉初期臨床研修プログラム

(1年次)

熊本赤十字病院 (基幹型)												
1w ~2w	3w ~6w	7w ~10w	11w ~14w	15w ~18w	19w ~22w	23w ~26w	27w ~30w	31w ~34w	35w ~38w	39w ~42w	43w ~46w	47w ~50w
科エン 2週	麻酔科 8週	救急科 8週		外科 8週		産婦人科 8週		小児科 8週		内科 8週		

※残り2週はローテート時期によって、内科・救急科・小児科・産婦人科・麻酔科・外科に追加する

(2年次)

熊本赤十字病院 (基幹型)						協力型病院・施設		熊本赤十字病院 (基幹型)				
1w ~4w	5w ~8w	9w ~12w	13w ~16w	17w ~20w	21w ~24w	25w ~28w	29w ~32w	33w ~36w	37w ~40w	41w ~44w	45w ~48w	49w ~52w
内科系 16週				救急科 8週		精神科 4週	地域 4週	選択科研修 20週				

②熊本赤十字病院〈総合診療重点〉初期臨床研修プログラム

(1年次)

熊本赤十字病院 (基幹型)												
1w ~2w	3w ~6w	7w ~10w	11w ~14w	15w ~18w	19w ~22w	23w ~26w	27w ~30w	31w ~34w	35w ~38w	39w ~42w	43w ~46w	47w ~50w
科エン 2週	麻酔科 8週	救急科 8週		外科 8週		産婦人科 8週		小児科 8週		内科 8週		

※残り2週はローテート時期によって、内科・救急科・小児科・産婦人科・麻酔科・外科に追加する

(2年次)

熊本赤十字病院 (基幹型)					協力型病院・施設				基幹型・協力型			
1w ~4w	5w ~8w	9w ~12w	13w ~16w	17w ~20w	21w ~24w	25w ~28w	29w ~32w	33w ~36w	37w ~40w	41w ~44w	45w ~48w	49w ~52w
内科系 16週				救急科 4週	精神科 4週	地域 ※1 12週			選択科研修 ※2 16週			

※1 「地域医療」は地域の小規模病院で行うことが望ましい。

※2 選択科研修はできるだけ地域の協力病院で行うことが望ましい。

(4) 指導体制

熊本赤十字病院は原則として研修医1名に対し、指導医、専修医を各1名付け、屋根瓦方式の指導体制とする。また、疾患によっては、専門医の指導を随時受けることができる。なお、指導体制は、ローテートする診療科、部門の研修実施責任者によって統括され、最終的には委員会の管理下に置かれる。

## 7. 研修医の処遇

◇身分	研修医（常勤嘱託） ※臨床研修に専念し、その資質の向上を図るよう努めるためアルバイト診療は行ってはならない
◇給与	基本給 1年次300,000円 2年次340,000円 時間外手当 有 賞与 有
◇宿舎等	職員用宿舎有り（1LDK）、医局内 研修医室あり
◇社会保険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険の適用有り
◇勤務時間	週38時間45分 平日 午前8時30分から午後5時05分（休憩50分）
◇時間外勤務	有 時間外・休日労働の想定上限時間数 960時間/年 時間外・休日労働時間の1人あたり実績 平均660時間/年 （令和4年度臨床研修医28名対象）
◇当直回数	準夜勤 約5～6回/月
◇有給休暇	年次有給休暇 年間21日 ※夏季休暇として1週間連続の休暇取得が可能 慶弔休暇等の特別有給休暇有り
◇健康管理	職員健康診断（年2回）、各種予防接種 メンタルヘルスカウンセリング制度
◇医師賠償	病院賠償責任保険の適用あり（勤務医師賠償責任保険は任意加入）
◇外部研修	教育研修への参加機会あり（参加費用補助あり） （ICLS、緩和ケア研修会、日本赤十字社本社研修、中心静脈実習等）
◇その他	互助会、院友会、職員食堂、職員用浴室（シャワー室）、仮眠室、ランドリー 職員駐車場、職員用テニスコート・グラウンド、院内トレーニングルーム、 白衣（KC・スクラブ）・携帯電話貸与制度

## 8. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取り組み

◇院内保育所	有（研修医利用可）
◇病児保育	有
◇夜間保育	有
◇ベビーシッター・一時保育等利用時の補助	無
◇休憩場所	有
◇授乳スペース	有
◇研修医のライフイベントの相談窓口	有
◇各種ハラスメントの相談窓口	有

## 9. 研修評価

各診療科、部門の研修修了時に行う。診療科ごとの研修評価表を用いて、研修医による自己評価、指導医及び研修実施責任者による指導医評価を行い、研修実施責任者は各項目の未達成事項などについて、重点指導を行う。

研修医の評価は、ローテーション終了ごとに、委員会事務局に各々提出することとし、委員会において最終評価を行う。

## 10. プログラムの修了認定

熊本赤十字病院院長は、委員会の評価に基づき、修了認定を行い修了者に研修修了証を交付する。

### 11. プログラム修了後のコース

2年間の初期臨床研修修了後は、引き続き当院にて、専門研修プログラムを用意している。新専門医制度にも対応しており、内科、救急科、総合診療科、産婦人科、外科で基幹施設としてプログラムを作成している。その他の領域についても、連携病院として専門研修を続けることが可能。当院において引き続き専門研修を希望する医師は、選考試験を経てその可否を決定する。（詳細は当院ホームページ、専攻医募集を参照ください）

### 12. 研修医の募集

全国マッチングシステムに参加し、選考試験を経て決定される。

## 参加施設の概要

- 熊本赤十字病院<ER重点>初期臨床研修プログラム
- 熊本赤十字病院<総合診療重点>初期臨床研修プログラム

### 協力型臨床研修病院

研修科 (期間)	施設名	所在地	開設者	病床数	管理者	研修責任者	指導医/上級医	時間外・休日労働 最大想定時間数	時間外・休日労働 令和4年度実績
精神科 (4週)	熊本県立 こころの医療センター	熊本市南区 富合町平原391	熊本県	200床 精神:190 結核:10	院長 西 良知	院長 西 良知	西 良知	0時間/年	0時間/年
精神科 (4週)	くまもと青明病院	熊本市東区 渡鹿5丁目1-37	一般財団法人 杏仁会	176床	院長 上田 啓司	副院長 坂元 正克	宮川 洸平、上田 啓司 古庄 史郎、坂元 正克 兼田 桂一郎	0時間/年	0時間/年
精神科 (4週)	桜が丘病院	熊本市西区 池田3丁目44-1	特定医療法人 富尾会	221床	院長 大磯 宏昭	院長 大磯 宏昭	大磯 宏昭、赤木 健利 桂木 正一、永山 格 松本 宏美、鶴崎 薫子 石坂 信子、村山 英一 渡邊 雅文、久我 政利 深川 淳至	0時間/年	0時間/年
精神科 (4週)	弓削病院	熊本市北区 龍田町弓削679-2	特定医療法人 佐藤会	160床	院長 相澤 明憲	診療部長 鍋島 賢大	相澤 明憲、庄野 昌博 岡田 修治、木藤 香代子 山城 佐知、磯田 和也 鍋島 賢大、池田 麻衣子 後藤 純一、泉 雄気	960時間/年	0時間/年
地域医療 (4~12週)	上天草市立 上天草総合病院	上天草市龍ヶ岳町 高戸1419-19	上天草市	195床 一般:149 療養:46	院長 脇田 富雄	副院長 和田 正文	脇田 富雄、竹下 哲二 藤松 晃一、和田 正文 船曳 哲典、岸川 秀樹 西 一彦、坂口 優子 古島 京佳、細川 貴規 小林 博、林田 夏南子 浦川 ゆめ子	720時間/年	0時間/年
地域医療 (4~12週)	国民健康保険 和水町立病院	玉名郡和水町 江田4040番地	和水町	98床 一般:56 療養:42	院長 大島 茂樹	院長 大島 茂樹	大島 茂樹、岩永 祐治	720時間/年	0時間/年
地域医療 (4~12週)	小国公立病院	阿蘇郡小国町 宮原1743	小国町外一カ町 公立病院組合	75床	院長 堀江 英親	病院事業管理者 片岡 恵一郎	堀江 英親、片岡 恵一郎 桑原 暢宏、大崎 琢磨	0時間/年	0時間/年
地域医療 (4~12週)	阿蘇医療センター	阿蘇市黒川1266	阿蘇市	124床	院長 甲斐 豊	院長 甲斐 豊	甲斐 豊、湯本 信也 橋山 元浩、近藤 龍也 山本 文夫、藤末 昂一 郎坂本 圭、山村 理仁	30時間/年	26時間/年

## 臨床研修協力施設

研修科 (期間)	施設名	所在地	開設者	病床数	管理者	研修責任者	指導医/上級医	時間外・休日労働 最大想定時間数	時間外・休日労働 令和4年度実績
精神科 (4週)	ニキハーティホスピタル	熊本市東区 月出4丁目6-100	医療法人 仁木会	200床	理事長 仁木 啓介	理事長 仁木 啓介	仁木 啓介	0時間/年	0時間/年
地域医療 (4～12週)	国民健康保険 天草市立河浦病院	天草市河浦町 白木河内223-1	天草市	99床 一般:39 療養:60	院長 中川 和浩	院長 中川 和浩	中川 和浩、鶴田 真三	8時間/年	2時間/年
地域医療 (4～12週)	山都町包括 医療センターそよう病院	上益城郡山都町 滝上476-2	山都町	57床	院長 山下 太郎	院長 山下 太郎	山下 太郎、水本 誠一 竹本 隆博	360時間/年	0時間/年
地域・ 保健医療 (4週)	日本赤十字社 熊本健康管理センター	熊本市東区 長嶺南2丁目1-1	日本赤十字社	19床	所長 吉田 稔	健康増進部長 野波 喜郎	吉田 稔、野波 善郎 大竹 宏治、窪田 健一 山本 恵三、高澤 英人 吉野 俊美、成田 泰子 宮山 祐美子、宮川 比佐子	180時間/年	0時間/年